

2016年5月12日

AGC 旭硝子、インドネシアで塩化ビニルモノマー（VCM）の 生産能力を追加増強

AGC旭硝子（旭硝子株式会社、本社：東京、社長：島村琢哉）は、インドネシアの当社子会社アサヒマス・ケミカル社（ASC社）における塩化ビニルモノマー（VCM）生産能力の追加増強を決定しました。ASC社は設備増設が完工し、2016年第1四半期より新設備での生産を開始しています。今般さらに既存設備のボトルネック解消と生産性向上により、生産能力を現行の80万トンから10万トン増の年間90万トンに拡大します。増産開始は、2018年初頭を予定しています。



VCMは主に塩化ビニル樹脂（PVC）の原料として使われます。東南アジアのPVC市場は、インフラ関連用途等が好調に推移し、年率5%超の成長が続いています。ASC社は先般の設備増設でVCMの年間生産能力を40万トンから80万トンに倍増しました。しかしながら、地域におけるVCMの供給が需要に追いついていないことから、今般さらに年間90万トンに増強し、域内の旺盛な需要に対応してまいります。一連の増強による増産分は、自社のPVC生産に充当する他、当社ベトナム子会社のフォーミー・プラスチック・アンド・ケミカルズ社を含む、東南アジア地域内に輸出します。

AGCグループは経営方針 *AGC plus* の下、東南アジアにおけるクロール・アルカリ、PVC事業拡大に注力しています。今後も東南アジア地域内における競争力向上およびシェア拡大を目指し、クロール・アルカリ、PVCの需要に合わせた生産能力増強策を積極的に進めてまいります。

◎本件に関するお問い合わせ先：

AGC 旭硝子 経営企画部 広報・IR 室長 小林 純一

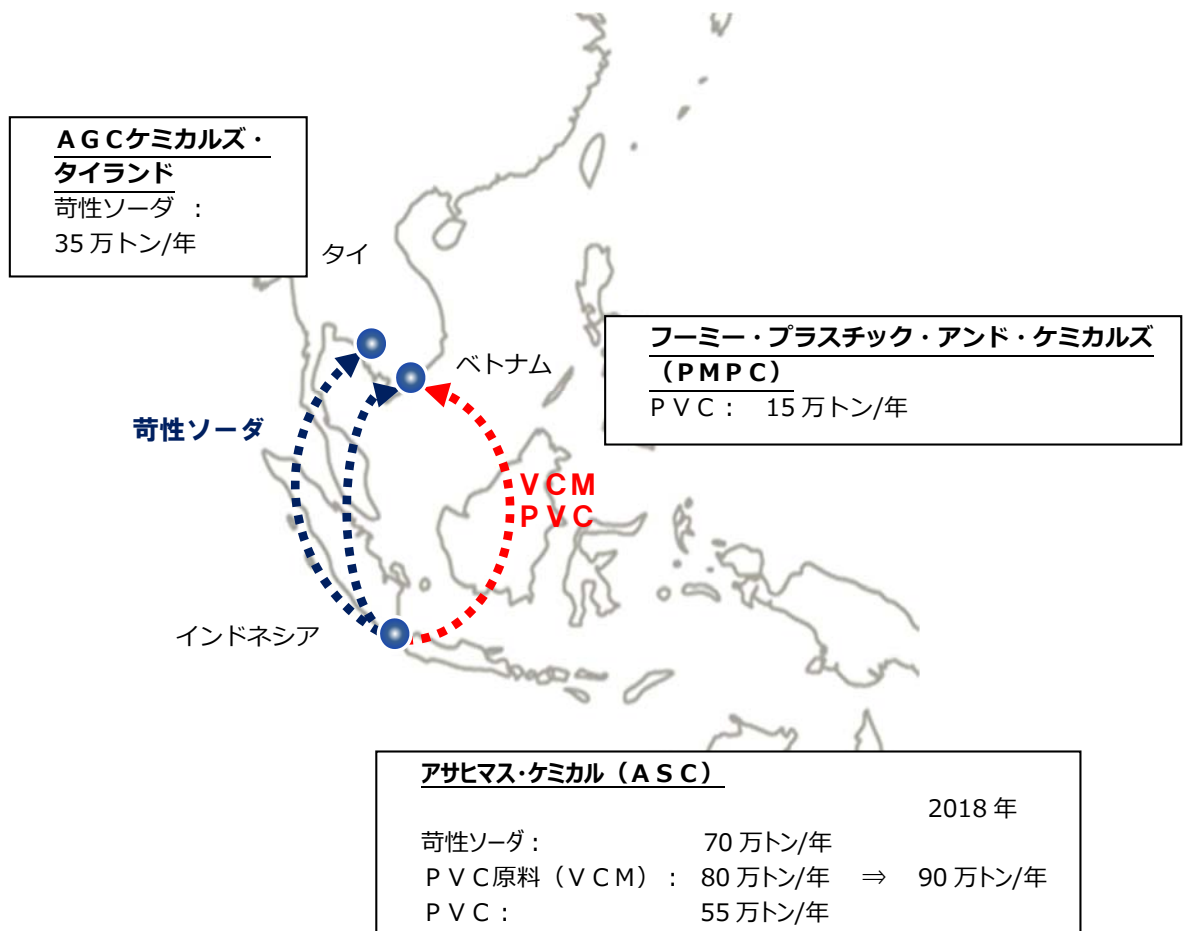
（担当：駒崎 TEL: 03-3218-5603 E-mail: info-pr@agc.com）

<ご参考>

■アサヒマス・ケミカル社概要

1. 社名 アサヒマス・ケミカル株式会社
2. 代表者 木下 勝也
3. 所在地 本社：インドネシア・ジャカルタ
工場：インドネシア・バンテン州チレゴン
4. 資本金 84百万ドル
5. 出資比率 AGC 旭硝子 52.5% 三菱商事 11.5%、
現地パートナー (Rodamas 18%、Ableman Finance 18%)
6. 設立 1986年
7. 事業内容 苛性ソーダ、二塩化エチレン (EDC)、塩ビモノマー(VCM)、
塩化ビニル樹脂(PVC)等化学品の製造販売

■東南アジアにおけるクロール・アルカリ事業の事業展開と主要施策



◎本件に関するお問い合わせ先：

AGC 旭硝子 経営企画部 広報・IR 室長 小林 純一

(担当：駒崎 TEL: 03-3218-5603 E-mail: info-pr@agc.com)